

第30回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1. 開催年月日 令和3年4月6日(火)
2. 時 間 午前10時20分～午前11時25分
3. 場 所 全員協議会室
4. 出席者 市長・教育長・企画部長・総務部長・市民生活部長・環境経済部長・
都市整備部長・福祉部長・こども支援部長・健康推進部長・
危機管理監・上下水道部長・議会事務局長・教育部長
5. 事務局 秘書課 田口参事兼課長
広報課 林田課長
危機管理課 藤田課長、根本主幹、川村主査
中村健康福祉センター所長
須田健康推進部副参事
健康管理課 須田課長、吉田主幹

6. 議事概要

(1) 対策本部会議について

- ・ 新型インフルエンザ等対策特別措置法において、市町村の対策本部は国の緊急事態宣言解除後は遅滞なく廃止すると規定されているが、令和2年5月25日付内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長通知により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づかない対策本部の設置は妨げないとされている。
- ・ したがって、入間市新型コロナウイルス感染症対策本部を任意に設置し、会議名称、回数は引継ぐこととする。

(2) 国内及び県内の発生状況について（資料1参照）

- ・ 4月4日現在、国内の感染者数480,424人の内、県内の感染者数は33,407人、その内、市内の感染者は522人である。また、県内感染者の療養状況等は、入院が466人うち重症者は37人、宿泊療養が306人、宿泊・入院予定と宿泊調整中が184人、自宅療養が371人、新規公表分が135人、退院・療養終了が31,242人、死亡が703人である。
- ・ 3月22日現在の市内感染者の療養状況等は、感染者数504人の内、入院が3人、宿泊療養が1人、退院・療養終了が500人である。

(3) 入間市の対応状況について

- ・ 県と歩調を合わせた対応を執っており、段階的に公共施設等を再開していく考えである。

- ・市主催若しくは関連するイベントについては、原則中止または延期としている。
- ・昨日、宮城県、大阪府、兵庫県に「まん延防止等重点措置」が発出されたが、埼玉県知事としては「現段階においては、新規陽性者の抑制を優先に考えてはいるが、「まん延防止等重点措置」については慎重な考えを示している」と報道されている。
- ・今回のまん延防止等重点措置の目的について、発生動向等を踏まえた集中的な対策によって、地域的に感染を抑え込み、府県全域への感染拡大を防ぎ、更には全国的かつ急速なまん延を防ぐことと内閣府は発信している。また、一部の新聞ではクラスターの多様化を報道している。
- ・以上の点から、市の感染拡大予防ガイドラインを踏まえた対応を各部署において図ることが重要である。

(4) ワクチン接種の検討状況について

《ワクチンについて》

- ・高齢者受けのワクチンについて、国からの連絡によると4月26日の週に1箱(975回分)が入間市に供給される予定であるが、供給量が少量であるため高齢者施設の入所者への接種を予定している。
- ・その後は5月9日までに全国で4,000箱、同10日から23日までに全国で10,000箱が供給される予定である。ただし、入間市へ供給される箱数は未定である。

《スケジュールについて》

①クーポン券（接種券）の発送

- ・4月26日に、まず80歳以上の方に発送を予定
- ・その後は、ワクチンの供給状況を見極め70から79歳の方、65歳から69歳の方と順次発送を予定

②予約受付の開始 5月10日を予定

③ワクチン接種の開始

- ・個別接種：5月19日から接種開始予定（市内31医療機関）
- ・集団接種：5月下旬から接種開始予定

④集団接種会場

- ・集団接種の拠点会場は市民会館（中央公民館）を予定
- ・各地区の高齢者の人口に対する医療機関の規模や数を考慮して、黒須、東金子、金子、東藤沢、西武の各公民館の巡回接種を予定

《その他》

- ・予約方法は、市のコールセンターまたはインターネットにて受付
- ・広報いるま号外、市公式ホームページで周知
- ・高齢者の接種以降のスケジュールは、国の方針、ワクチンの供給状況、高齢者へ

の接種の進捗状況を踏まえ決定していく

(5) その他

※各部長からの報告等

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で生活が苦しい家庭や女性に対して、防災備蓄品の生理用品を配布する準備を進めている。また、相談窓口として訪れ易い場所等で配布したいので各部署の協力をお願いする。なお、数に限りがあるので男女共同参画推進センターのホームページ、市公式フェイスブックで周知する。
- ・「ふれあい朝市」、「自然かんさつ会」については、屋外事業であり感染防止対策を施して実施していく。
- ・狂犬病の予防接種について、昨年度は動物病院での個別接種としたが、今年度は現在の感染状況に変わりがなければ、接種会場を設けて集団接種を実施する予定である。
- ・「八十八夜新茶まつり」は屋外を中心に感染防止対策を施した上で5月1日の開催を予定している。
- ・観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」における実証事業として「新しいデートリズムの提唱」を、新しい観光の在り方を検証するため4月11日に実施する。
- ・緊急事態宣言解除後にマスク会食キャンペーンを再開する予定であったが、現在の状況を鑑みて、キャンペーンの趣旨を「マスク会食の推進」から「飲食をするとき以外はマスクを着けよう」という点を強調しPRしていく。
- ・体育施設である運動公園や中央公園などに、お花見自粛の看板を設置したところシートを敷いて花見をするなどの行為は無く効果があったと考えている。
- ・4月15日に新型コロナワクチンについて、人間地区医師会の協力を得て山岸先生から対策本部に対して講演をいただく。
- ・鍵山浄水場の施設見学を当面の間中止とする。
- ・5月5日に感染防止対策を徹底した上で、児童センターまつりを完全予約の3部制、定員1回あたり50名で実施予定である。
- ・4月16日に「一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター」が、市民ギャラリーにおいて成年後見無料相談会を開催する。なお、アクリル板の設置、アルコール消毒液の準備など感染対策を図る。
- ・緊急事態宣言中は自粛していたが、4月21日に「フードバンクいるま」によるフードドライブをマスク・手袋の着用、検温の実施などをした上で、市民ホールで開催を予定している。

- ・文化創造アトリエアミーゴで、4月7日、24日、5月5日にコンサート、4月17日に館庭を利用した春のフェスティバルを感染防止対策をとり実施する予定である。また、昨年度は実施できなかった「日本語教室」を4月から開講する。
- ・市の感染拡大予防ガイドラインを遵守して3月30日に「西沢しのぶ ソプラノリサイタル」を開催した。
- ・現在、博物館において、自然災害時の行動や災害への準備を考えてもらうきっかけとして、震災から10年を契機に東日本大震災の写真パネル展を4月11日まで開催している。
- ・4月4日に消防団新入団員の辞令交付式及び本部役員会議を実施した。なお、手指消毒、検温、会議時間の短縮などの対策を図った。
- ・入間第一ホテルの昨日の宿泊利用者は30名で、昨日の県内9つの宿泊施設全体の利用者は311名である。県内の宿泊療養者は300人を超える日が続いている。
- ・広報いるま号外12号を4月14、15、16日で配布予定である。
- ・各公園などにお花見自粛の貼紙をしたところ、市民の皆様に自粛のご協力をいただけたと考えている。
- ・会食だけでなく、人が集まる様々な場面でクラスターの発生が報告されている。現在、本市では県の対応に沿って4月21日までのイベント等は原則中止とし、止むを得ず実施する際でも感染防止対策をしっかりと行うことを前提としている。そのため、市の主催事業はもとより、市が後援等を行う事業の実施においても感染防止対策の徹底をお願いしたい。所管課が現場確認を出来ない場合でも後援許可を通知する際などに、主催者がどのような感染防止対策を行うのか、また、その対策が確実に行われるのか確認されたい。

※その他

特になし